

野の花館だより

2010/春号 / No.55

なたね梅雨でしょうか、はっきりしない天気が続いております。それでも確実に春は巡り来て、ホトケノザやオオイヌフグリ、白花タンポポと競い合って花が咲き始め嬉しい季節です。みなさんお変わりありませんか？野の花館では子どものための舞台公演冬人形劇団のはなの“ちいちいにんにん”が終わり、今期事業の最後を飾りました。町内の若い家族がたくさん参加して下さったの本当にうれしかったです。早くに町内のわかば保育園が団体観賞を決めて下さり、初めて2ステ - ジ公演も実現しました。

野の花館が人々に生きる楽しさや感動、安らぎをもたらし、豊かな人間性を育む文化芸術の拠点となりえたのでしょうか？少子高齢化や生活圏の拡大など社会は大きく変化し、人々の価値観や生活様式も多様化している現在、人と人をつなぎ、心豊かな生活を提供する事業の役割はより重要なものです。

今年度の舞台公演「花いちもんめ」「人形劇ちいちいにんにん」そして「ミールのミニコンサ - ト全3回」とささやかながら豊かに取り組みました。嬉しいことに今年度は町内の方々の参加が少しずつ増えてきています。もっともっと、地元の人たちの参加を期待したいと思います。次年度も、ミニコンサ - トを連続して開いていきます。恒例の野の花館まつりは今年16回を数えます。こちらでも、町内の参加が多くなり、ありがたいことだと思っています。ぜひ皆さんお出かけください。

第16回野の花館まつり

野の花館・子どものための舞台公演・2010・春

(H22年度赤い羽根共同募金助成事業)

子どもたちの瞳輝く！大人たちの心やすらぐ、豊かな文化を！

2010年4月24日(土) 10時～15時



和太鼓演奏「舞鶴一座・秋月鼓童」

子どもバンド「Anuenué」など

新登場！！！！

10時～15時 舞台が楽しい！

人形劇・フォークダンス・唄など

11時～13時(春を食べる会)

おすすめ天ぷら・白あえなど

食券 たんぽぼ券(300円)

当日スタッフとして手伝ってくださる方

大募集中！

(0983-23-0701)

子どものための舞台公演冬・

ちいちにんにん（人形劇団ののはな）

（ちいさい子どものための 5つのちいさい人形劇集）：構成演出 納富俊郎

2010年2月6日(土)10時～、14時～ 2回公演

*上演時間:40分 *対象:1才～入学前の子どもとその親。

野の花館は人が集まる場所

人形劇団ののはな 納富俊郎

➤ ののはな館は、いつ行ってもなつかしい。今年はまだ、呼んでいただきました。

同じ名前でもとても親しみを持っていますので。また声を掛けていただき嬉しく飛んで行きました。

この館は、少し昔の人たちがたくさん集まって一生懸命作ったものですよね。

人の命を守り、たくさんの方が集まり、楽しく過ごす館です。いいですよね。

ここにまた、たくさんの方が集まり、楽しい祭りを開き、交流をしました。

私たちは人形劇をしていますが、子ども達の歓声は、大人を元気にしてくれます。

命の輝きやきらめきは、未来を明るく照らします。則松さんはちょっとくたびれたと言われたので

少し心配ですが、地域や子ども達の為にふれあいの館の力を、これからも大きくしなければなりませんね。

私たちも同じ「ののはな」の親戚です。いつでも飛んで行きますから、皆さんと一緒に楽し

いお祭りを続けてゆきましようね。今回もたくさんお世話になり、ありがとうございました。

- また、楽しい人形劇でお会いしましょう。

佐土原の皆さん、頑張りました。！ オペラピノッキオ公演 大成功！

（中心で支えた皆さんは一昨年の野の花館の活動に参加した方々でした。ブログで紹介します。）

6日は、高鍋の「野の花館」に行ってきました。その日は、福岡から来た人形劇団「ののはな」さんの人形劇があり、子どもたちと観ました。シンプルなのですが、美術的な表現と動きで、くいい入るように、見入っていました。

子どもたちの笑顔と歓声があり心温まりました。(^-^*)

最後に野の花館さんのご好意によりピノッキオの案内もさせていただきました。ドキドキしましたが...今日の人形劇のように、ピノッキオでも、子どもたちの笑顔がたーくさん見れるといいなあ～と思いました。

母親の思いが、たくさんの人を動かし今月公演を迎えます。沢山いろいろ回り道しながらみんなで手を取り合って頑張ってます！応援して下さいね～是非、観に来て下さいね～

そして、最後に「野の花館」の事も...

ここは、私が大好きな場所です。高千穂町の土呂久に江戸末期に建てられた古い民家で、高鍋に運ばれて「野の花館」として蘇った建物です。

春は、野の花館まつり

夏は、平和を考える集い秋は、いろいろばらき

冬は、子どものための舞台鑑賞など...

その他、みそ作りや染め物など色々な事を行っています。

ここに来ると、時間がゆっくりと感じ穏やかな気持ちになれます... 子どもも自然のなかで、いつまでも遊んでいます。

館長さんの夫婦の人柄も良く素敵な方ですよ...

是非、野の花館にも足を運んでみて下さいね～

ちいちにんにんを観て

わかば保育園 黒木 厚子

* 素朴で見ているとほっとするあたたかい人形劇であたたかい気持ちになりました。はじめは園とちがう場所で表情が固かったり、雰囲気になれずにベソをかいた子どもたちも、身近にあるぬいぐるみを使ったお話や素材をうまく利用した動きや劇に引き込まれて舞台から目が離せなくなっていました。

1、2才児の小さな子ども達にも見せてあげたかったですね。私たち大人もほのぼのとした雰囲気で過ごすことができ、いやされました。又、人形にも表情があるんだなあーと感じました。親子で見れたらもっと楽しいでしょうね。

日野原まさこ

* 「人形劇団ののはな」さんの公演を初めて観たのは、もう十数年も前でしょうか？一緒に観た次男次女はまだ小学生でした。その後は、社会人となった長女と、あるいは、独りで・・・そして今回は、母親となった娘と初孫と三人で。

もうすぐ二歳の孫には初めての演劇鑑賞です。開演前には、薄暗い室内や、会場のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちの元気な様子に気をとられていましたが、人形劇が始まると、膝の上で、一生懸命観ていました。どこの家にもありそうな人形たちが、生き生きとしゃべったり動いたり、ただの紙袋が「むしゃむしゃくん」になり、スポンジまで動きだす。こんなにちいさな子をもひきつける。ののはなさんと人形たちの演技に拍手です。

さて、家に帰ると我が家の孫は、いつものようにひいばあちゃんの手作りの人形を相手に遊んでいました。

久しぶりに観たののはなさんの人形劇は、私自身が忘れていたものを思い出させていただいたひと時でした。



2009 年度の野の花館

第 15 回野の花館まつり 5/2



ミ-ルコンサート 6/28 .10/31. 12/23

郷土料理教室 7/6



平和を考える集い 2009 演劇企画(2人の会) 花いちもんめ 8/15



染色講座 9/26



みそづくり 10/10~17



いろりびらき 10/31



いろりでやいた、おもちとだんごは1こずつ食べました。
どちらもとてもおいしかったです。そのあとにドッチボールを
やりました。わたしは、あたったりにげたりしました。
とってもおもしろかったです。またやりたいです。(山下ほなみ)

どろんこ保育園竹取 1/13



子どものための舞台公演冬

ちいちいにんにん 2/6



第 21 回ミールミニコンサート

12月23日(水) 14:00~15:00

ヴァイオリン&ピアノ・デュオ

ヴァイオリン(稲田竜斗)

ピアノ(稲田由香里)



“クリスマスコンサート”

雪の日のソリのベル…ギロック、 The old refrain…ブランドル

オブリヴィオン…ピアソラ、 戦場のメリークリスマス…坂本龍一
他…

*クラシックな雰囲気演奏も素晴らしかった。ありがとうございました。 65歳 男性
*いつも目の前で。そして心にズンとおちてくる音を聴ける「野の花館」のミールのコンサートを楽しみにしています。

今回は、特に先日参加出来なかったピアソラの曲が聴けて感激!!ありがとうございました
ました。ドビュッシーのノクターンには特別の思い出(40年前の)もあり、2009年の最後のコンサートでこの曲も聴けて最高でした。 63歳 女性

*こんな形で気軽にコンサートに出会えるなんて本当にうれしいです。また聴きたいです。
よろしくをお願いします。 62歳 女性

*とてもはく力がありました。わたしもいなださんみたいにピアノがうまくなりたいので、
れんしゅうがんばります。 ひなた 9歳

*今日のえんそうもとてもすてきでした。お2人のテクニックに圧倒されます。これからも
たのしみにはしていますのでずっとつづけてください。



ミールより

みなさんこんにちは、いつも聴きに来て下さってありがとうございます。
野の花館コンサートも始めてから3年が過ぎましたが、その間にパーティー、結婚式やディナーコンサート、
劇場でのコンサート、各種イベントでの演奏、県外への遠征など、活動の範囲もだいぶ広がって今は多忙な日々を
送っています。ミニコンサートもそんなにちよくちよくは出来なくなりましたが、野の花館は駆け出しの僕達を
支えてくれた大事な場所なので、これからも続けていきたいと思っています。今後ともよろしくをお願いします。

稲田 竜斗、由香里

育児だより

* かんきつ姉弟 *

金丸 智子

3寒4温とは言うものの、すごく寒かったり、逆に暖かすぎたりよくわからないこの頃です。この春、我が家は2人の卒業、入学と相成りました。一応、受験生がいたのだけれど、通常通り、あまりビリビリもせず越えてきた感じです。とりあえずすごいことが起こらない限り、無事高校生になれそうな長男蕉耶です。目標は獣医師なんで、まずははじめの一步だ！！

早いもので、3番目の千夏おねいちゃんは小学生。水色のランドセルで通うことになりました。知らない子ばかりだけれど、たくさん友達できると良いね。気持ちが日に日にふくらんでいる様です。どろんこでの日々もあと1ヶ月。すでに仕上げの段階で、卒園式でおひろめする竹馬も乗れる様になったし、長い距離も歩ける様になりました。できることが増える分、心も育つ！！

いろんなことが日々起こるのだけれど、これは偶然ではなくてこなしていかなければいけない課題なのだ！と自分に言いかけつつ、母も子も毎日修業。ホッとできるのはもしかしたら「いまわのきわ」なのかもしれないですね。

4月より高・中・小・保の母ちゃんです。どんな出会いがあるのやら。ただ、面白い精神を忘れずに向かっていきたいものです。がんばれ みんな！！

* 伊藤兄弟 *

伊藤 美穂子

最近、友樹は眠りにつくとき、ぬいぐるみを自分の枕にズラリとならべる。その一つ一つに名前もつけている。7才上の兄、夏勢が小さかったときにつけたのは、また全然別の名前であるのがおもしろい。白ねこを“うさぎさん”茶色のほっそりしたクマを“お父さん”、白と水色のクマを“お母さん”etc。(ちなみに夏勢はそれぞれ、ねこ、ティブくん、ファーファとよんでいた)。なんで白と水色のクマが“お母さん”なんだろう。夏勢いわく「ちょっと前のお母さんはまるっきりそんなふうだったよ。」だそうである。まるでフワフワでやさしい雰囲気その人形が「ちょっと前の私か…。体形のこと？それとも性格のこと？じゃあ今はどんなふうなの？」とはなんだか聞けなかった(笑) だけど、理想をいえば、息子たちにとってやさしい、こわいよりもちゃんと話のできるお母さんを目指したいなあ、と思っている私でした。



* れんくん...東京から…

長野 志保

…れんとの宮崎の日々、本当にありがとうございました。楽しい日々でした。すぐにでも又行きたいくらいに… れんは野の花館大好き♥で遊んでましたね。又見たいー。

こちらに帰って次の日、私のトイレについて来なかったり、1人で遊んでみたり、ちょっと離れてみたりる変化大！！お父ちゃんも変わった - と言っておりました。一番ビックリしたのは、ほっぺたポニョポニョに太っていた事だったみたいですが！食はその後まーよく食べるタベル…私もどんどん食べさせるようになりましたよ。今もプニョプニョれんでございます。それも又カワイイ のですが♥

またすぐにひつき虫はもどってしまいました。言葉は別松家でしゃべり出してからどんどん増えていってます。きっかけだったんですね。今は、“れんれんのー”がブーム。単語も増えましたよ。そして魔の2才。イヤイヤ期。イヤ！イヤ！と何でもまずイヤと言うようになりました…これも成長なのでいい事なのですが…そしてそして忘れもしない、みなさんの帰ってくる前日の11月20日。とうとうれんが歩き始めたんですー！もうビックリ。歩く歩く。“抱っこ”のひと言は彼の中からはなくなったみたいです。何があったのでしょうか？何かあったのでしょうかね。んまーシアワセです。れんと手をつないで散歩なんて♥♥♥楽しい 1人でニマニマしながら歩いています。本当に沢山変化のある一ヶ月でした。宮崎への旅は大きかったのかしら。せと是非又れんと一緒に遊びに行きたいです。布ナプキン、とってもいいです！気持ちもいいし、洗うのもとても楽で、これからの体の変化が楽しみです。おりものシート用にもっとほしいなと思ってきました。ふーちゃん、もし布がのこっていたらわけてほしいです。…

事務局日誌より

12/6(土)12月定例会 19:00から
12/14(月)いろりばた会 19:00～
12/23(祝)14:00から ミールクリスマスコンサート
1/20(水)第2回いろりばた会 19:00～
1/30(土)1月定例会 19:00～
2/6(土)10:00から 14:00から人形劇2回公演
2/13(土)2月定例会 19:00～
2/16(火)第3回いろりばた会 19:00～

これからの予定

3/16(火)第4回いろりばた会 19:00から
3/26(金)19:00から 3月定例会
4/24(土)第16回野の花館まつり 10:00から
5/初旬 第11期総会
5/30(日)第22回ミルミニコンサート

昨年、10月25日みんなの街をみんなでつくるフォーラム(自死対策応援レ の一環として...)に参加し、その後、野の花館で一ヶ月に1回いろりばた会が開かれるようになりました。その中で、(住みにくい/嫌だな-)と感じるところを出し合い、もう一度、みつめ治してみたら、「たかなべ」には魅力的な場所やすてきなひとがいっぱい...それに気づいて、人と人の触れ合う人情あふれる街づくりが自死予防につながり、地域活性化につながることを確認しあい、町内の異業種・異年齢の人たちが集まっています。どなたでも参加できます。何でも持ち寄ってその日の話題になります。黙っているの火を見つめているだけでも素敵な時間が流れます。一度のぞいてみてください。いろりばた会の話題にふさわしい一文をいただきました。ご紹介します。

愛犬の死

黒木淑子

今年の寒さは、特にこたえました。暖かい3月1日午前10時20分、我が家の愛犬“ラップ”がなくなりました。大型の洋犬 35kg、腰が弱くなり、歩行困難になっていました。1か月余りのラップの世話をしながら、なんという礼儀正しい犬だろうか、幼いころのしつけがいいのだろうか、排泄において必ず大声で呼び、私が行くまで我慢しているのがすごいと思ったりしていました。何度か獣医さんに診てもらいましたが、高齢でよく頑張っているよとやさしくなでてもらい、嬉しそうな眼をしていました。亡くなる前日のこと。一日中、ワンワン、ワンワンとないていましたが、自分の命の終わりを万物に伝えているのだろうか、元気な時にいつも遊びに来ていたネコが日頃ニャ-ニャ-と言っていたのにギャ-ギャ-と異様な声をだすのにびっくり...何かを感じました。ラップの身体をなでているうちに次第に息づかい、ワンワンの声も小さくなり、ス-ッとねむっていました。

次の日、火葬をし、過日よく遊んだ小丸川へ流し、15年間生活した庭にまつります。仲よしのネコがそ-っと小屋をのぞいています。

きっとさびしいんだろうなあと思いながら、ありがとう！ネコちゃん、感謝！！

昨年、手術をした私にとってラップの死は生きること、人のかかわり等、ごく日常的な大切なことを教えてくれたような気がしています。

合掌

野の花館へのご支援感謝します！

2010年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。

(09.11.26.～10.3.1.受け入れの方々)[順不同、敬称は省略させていただきました]

池下純、伊藤美穂子、井戸川貞子、井上志保、岩田和彦、上野豊、榎木ミヨ子、岡山勇、金丸智子、辛島幸子、隈元三枝子、黒木淑子、児玉正文、桜井喜美江、友成昌亮、成田真理、西尾保子、則松久夫、則松康郎、林真美、古屋恵子、萬代恵子、山本ちよび

ありがとうございました。

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664 phone & fax:0983-23-0701

ご意見ご感想ご質問などお寄せください、 宛先: 特定非営利活動法人 野の花館